

平成 23 年 3 月 15 日

福島県知事 佐 藤 雄 平 様

伊達市長 仁志田 昇 司

要 望 書

東北地方太平洋沖地震の災害対策について、伊達市においては、一昨日より
原発事故避難民対策に重点を移し、対応しているところであります。

つきましては、下記のと通りの対策を要望します。

記

- 1 緊急車両、公用車等の燃料が不足し、災害活動に支障を来している。
また、車社会の今日、市民生活にも重大な影響を及ぼしているので、ガソリン・
灯油等の燃料を至急確保すること。
- 2 今般の避難者については、当該市町村からの依頼もなく、また、統一のと
れた行動がなされておらず、受け入れについて対応に苦慮している。
今回の事態に対しては全県的な対応が必要と考えており、伊達市において
も全面的な協力をしたい。
については、市町村に対する全県的に統一された指示を願いたい。
- 3 放射能汚染を心配する市民が多数おり、対応する職員にも不安が広がって
いる。については、次の事項について対処されたい。
(1) スクリーニングの実施
(2) タイムリーな放射能情報の提供
- 4 避難所については、県有施設であっても、伊達市に連絡なく開設されるの
は遺憾である。その運営は県が行う考えなのか。

事務担当：伊達市災害対策本部 (電話 024-575-1111)